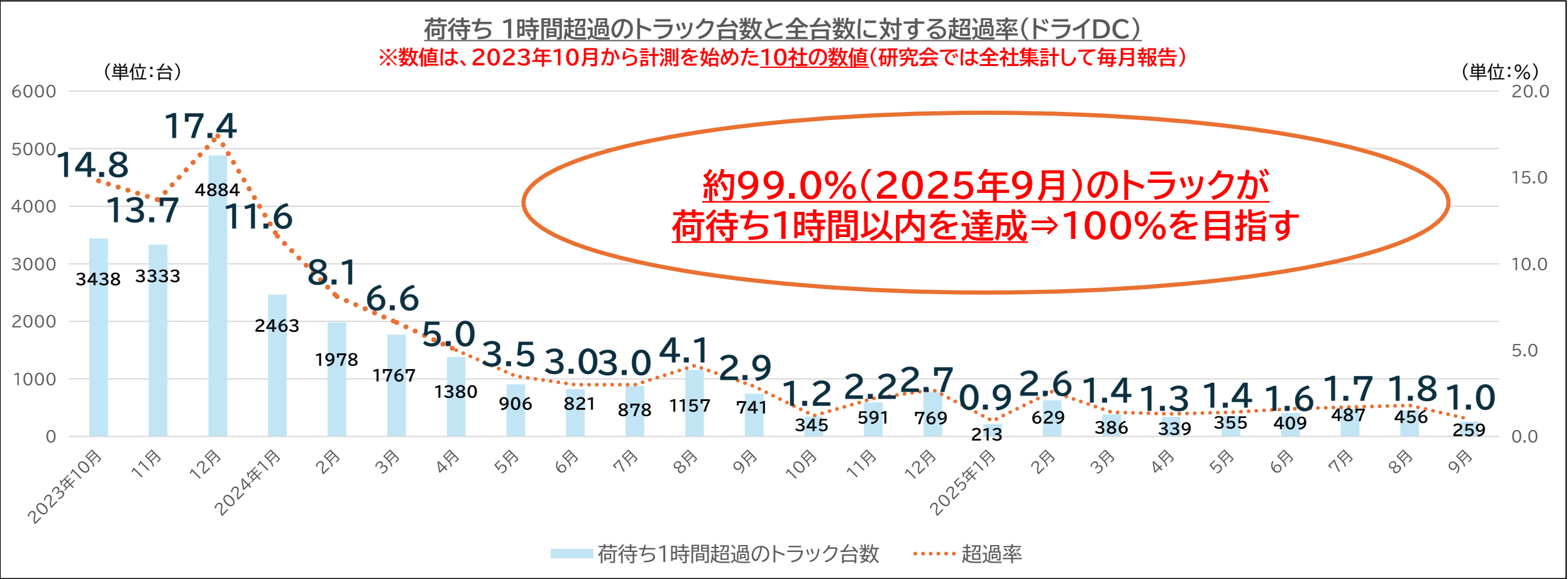


■ SM物流研究会 参加企業各社の取り組み状況(2025年10月末時点)

社名	加工食品における定番商品の 発注時間見直し	特売品・新商品 発注・納品 リードタイム確保	納品期限 1/2ルール採用	流通BMS 導入	予約受付システム 導入・活用	バラ積み納品の 削減推進	トップ 合意
サミット	○	○	○	○	○	○	○
マルエツ	○	○	○	○	○	○	○
ライフ	○	○	○	○	○	○	○
ヤオコー	○	○	○	○	○	○	○
カスミ	○	○	○	○	○	○	○
西友	○	○	○	○	○	○	○
いなげや	○	○	○	○	○	○	○
東急ストア	○	○	○	○	○	○	○
原信・ナルス	○	○	○	○	○	○	○
平和堂	○	○	○	○	○	○	○
エコスグループ (参加4社合同)	○	○	○	○	○	○	○
イトーヨーカ堂	○	○	○	○	○	○	○
ベイシア	○	○	○	○	○	○	○
万代	○	○	○	○	○	○	○
オークワ	変更に向けて調整中	○	○	○	○	○	○
マルアイ	○	○	○	○	○	○	○
京成ストア	2026年2月変更予定	2026年2月変更予定	2026年2月変更予定	○	— ※TCのみ運営	○	○
ウオロク	2026年3月に変更予定	○	○	○	○	○	○
とりせん	2026年2月に変更予定	○	○	○	○	○	○

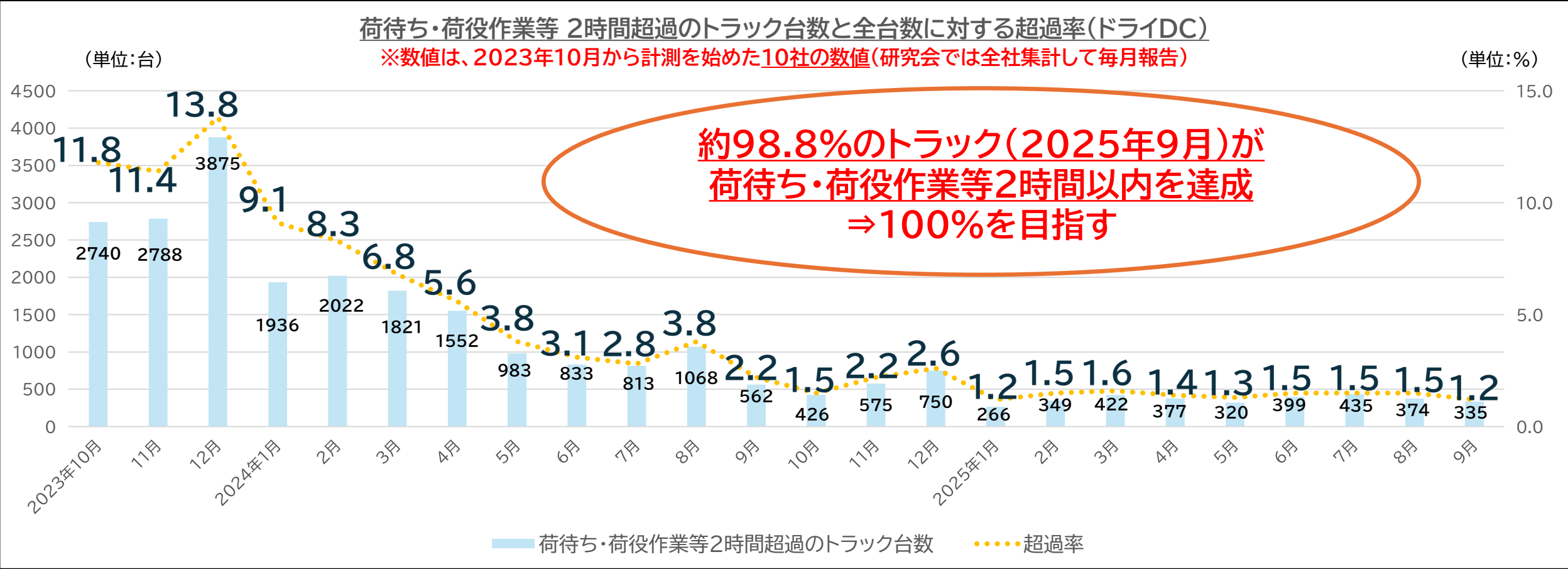
■ 荷待ち時間の計測状況



※2025年9月 21社集計 荷待ち 1時間超過のトラック台数 765台(全台数に対する超過率1.6%)
(京成ストア、とりせんはドライTCのみの運営のため、上記のドライDCは計測していない)

バース予約率の向上⇒入荷トラックの状況把握(積載物・バラ・パレットなど)が可能となり、
物流センターでの受入れ体制が構築できる(荷待ち・荷役作業等時間の短縮に繋がる)

■ 荷待ち・荷役作業等時間の計測状況



※2025年9月 21社集計 荷待ち・荷役作業等 2時間超過のトラック台数 1,069台(全台数に対する超過率2.2%)

(京成ストア、とりせんはドライTCのみの運営のため、上記のドライDCは計測していない)

荷役時間の短縮(「バラ積み」⇒「パレット積み」など)に向けて取り組む

⇒製・配・販で意見交換を行い、全体最適を目指す

※今までは、ドライDCを中心に計測していたが、ドライTCの計測も行っている。最終的にはチルドセンター、生鮮センターの計測に向けて検討中。